

記聴巻語計 は

金装を設めて

京品の国

C. J.

지 교사 등 야 현물표지 (大十元일 물 등 후 기 시계 현 기 등 한 현물표지 (大十元일 물 등 후 기 등 기 등 한 기 등 이 기 등 한 기

創

京城府嘉會洞一〇九番地 自宅電話二五五五番 章

完

京城府鍾路通二丁目四三番地

高。音

金銀美術製造販賣

(京城地方法院上隅)

開陸宮の本店의確信の以外各種単級及評判報製造経貨券 経難 京城寬默洞一儿六番地 無話 四八三番

戦雲り 滿天不捲す吟 物品輸出り 特別・

MA

銀片蓋刷馬票 十八金片同 落에 當此期さら 各種物品を無漏 物品輸出り至便而金價도亦為低 甚難り引山 習々和風の吹來す 俱備す斗と り多數使用する 伏乞 个八¹ 五 六

十八金兩餐同 **全眼鏡** 의多少斗物品司異形象依求酬應る 納金班指一回 金品や右記以外合意すべ州 高甲印 形丸臺 二個付四個付 三鍵付 士十 二十一個八十段 一十四個九七十 七 圖三十二 三百士 三百圓

京城鐵路二丁目